

2025年 4月 30日

## 2024 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名バイリンガル・マルチリンガル子どもネット  
代表者・役職名 会長 中島 和子

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

#### 1. 助成プロジェクトの名称

複数言語環境の子どもサポート2024

#### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

バイリンガル・マルチリンガル(BM)子どもネットは、多言語環境にある子どもを、グローバル時代が必要とする人材に育てるお手伝いをする会です。2016 年中島和子トント大学名誉教授を中心に有志が立ち上げました。子どもの自尊感情を高めて、さまざまな困難に前向きに立ち向かい、国内外で活躍できる子どもの育成及び保護者のサポートを目指しています。有料・無料会員の総数は約 400 名です。

#### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

子どもが国をまたぎ移動するのは本人の希望より親が決めることが多く心理的な問題が発生しやすく、その対応をより深く掘り下げて考える必要があります。BMCN に寄せられる相談は、複数言語環境に育つ子どもの言語、発達、教育、心理面に関するものでケースにより回答に苦慮することがあります。より専門的に対応する為にさらなる学習が必要と考え、バイリンガル教育を小学校、中学校で経験してきた方より実体験の話をしていただくことが重要と考えました。またその知見、経験を多くの人たちに伝える事も大切だと考えました。

#### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

訪問予定の学校の事情を考慮して相談員等に限定した非公開勉強会とし、相談員その他関係者を含めた 9 名が参加しました。訪問先は帰国生をはじめとするバイリンガル・マルチリンガルの子どもの教育において長い伝統と実績がある啓明学園・国際学級教室です。交渉窓口には同校元教師の山下先生、調整、依頼、取りまとめを奥村先生が行いました。次に、その訪問をふまえて ZOOM での公開勉強会を開催しました。講師からの説明の後に相談員と講師によるパネルディスカッションをしました。教室を見学したが 1) 母語も踏まえた評価、2) 国語の読解教材、3) 個に応じた教育を全校的に進める方法について質問し、詳しい解説がありました。最後に、一般参加者からの質疑を受け、全員でのフロアディスカッションを行いました。

#### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT. 実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME. 事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT. 事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

学校訪問により個に応じた学びを促す教室環境、教員のはたらきかけ、生徒同士のピア・サポート、レベルや内容が工夫された豊富な読解教材等に触れることができました。その後、在籍する生徒の特性、個別の時間割を始めとする学校全体の取り組み、成績評価のポリシー、指導期間、一般クラスへの移行等について理解を深め、相談員との情報交換も行うことができました。また、教育システム、教材、外国につながる子どもの見方など多岐にわたり、講師と相談員、様々な立場の一般参加者(支援者、指導者、保護者等)とのやり取りが行われた。多くの情報を共有し、話し合う事は、今後のそれぞれの指導の為のヒントとなる知見が数多く得られる成果があった。

#### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

本人達、保護者、指導する人たち自身が複数言語環境に育つ子どもたちへの知見の蓄積がまだ浅く、どのように対応するのが最も良いのかを悩んでいる人が多い。今後様々な指導の方法や、相談のケースを収集してそれぞれの子どものケースに最も適した方法を見つけ出したり、アドバイスができるように情報交換をする必要があると考えます。そのためにも今まで蓄積した当団体編集委員会出版の『バイリンガル・マルチリンガルの子どもの教育の未来』(明石書店)の内容を広く伝えることができればと考えます。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

